

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：アジア乱読 ILAS Seminar :Intensive Reading Seminar on Basics of Asian Studies			担当者所属 職名・氏名	東南アジア地域研究研究所 准教授 中西 嘉宏		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール (対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2024・前期	受講定員 (1回生定員)	15 (10) 人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	木5	教室	東南アジア地域研究研究所東棟 E-202会議室 (医・薬・病院構内)			使用言語	日本語
キーワード	アジア研究 / 多読の方法 / 精読の方法 / 積読の方法 / レビューの方法						
[授業の概要・目的]							
この授業には2つの目的があります。第1に、日本も含むアジアの社会・政治・経済・文化を広く様々な文献を読みながら学ぶことです。第2に、読み散らかし（乱読）ながら、本（をはじめとする文字情報の固まり）の読み方にはどういうものがあるのか、いかにして何のためにたくさん読むのか、それを自分の知識や考えを更新していくためにどう活かすのかを学ぶことが目的です。 アジアという地理的概念はヨーロッパ中心の世界観から生み出されたもので、広大な領域を含むものの、そこに何かしらの共通性があるわけではありません。ですが、欧米を中心とする学術研究ではうまく説明できない現象や見落とされてきた固有性がアジア各地にあるのも事実です。とはいえ、反欧米中心主義なんて堅苦しい思いはなくてもよくて、もっとアジアについて知りたいくらいに関心がある学生であれば誰でも歓迎です。 この授業ではさまざまな分野の本をたくさん読みますが、読者好きだけを対象とした授業ではありません。本を読むとすぐ寝てしまう人や、まともに本を読んでこなかった人も、いろいろ本を読みたい、読み方を知りたいと思うなら受講できます。最終的には、読むことから書く（レビューする）作業につながります。							
[到達目標]							
アジアの社会・政治・経済・文化を広く文献講読や輪読を通じて学び、アジアのなかの一部として日本を意識できるようになり、アジアの見方を身につけることができます。また、たくさん本を受講者全員で乱読することで、多読や精読の方法について知り、筆者が書いていることを理解するだけでなく、自分で考えるために読めるようになる。							
[授業計画と内容]							
第1回 オリエンテーション 第2回 講義：読まされるだけでなく読む 第3回 わたしの読書遍歴 第4回 輪読と議論 第5回 輪読と議論 第6回 輪読と議論 第7回 輪読と議論 第8回 講義：読むだけでなく読み散らかす 第9回 輪読と議論 第10回 輪読と議論 第11回 輪読と議論 第12回 輪読と議論 第13回 講義：読み散らかすだけでなく書く 第14回 レビュー執筆・報告							
ILASセミナー：アジア乱読(2)へ続く↓ ↓ ↓							

ILASセミナー：アジア乱読(2)

第15回 レビュー執筆・報告

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

平常点（複数回の課題提出）・・・70%

学期末レポート・・・30%

[教科書]

使用しない

講読文献は教員が指示するが、受講生の希望や関心を考慮して授業内で決定する。

[参考書等]

（参考書）

授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

課題文献は読んだことを前提に授業が始まりますので、頑張って読んできてください。

[その他（オフィスアワー等）]

読んで議論する形式をとるので、質問、批判といった積極的な参加が求められます。少人数なので発言を求められることもありますし、執筆した自分の文章を参加者全員の前で読み上げることもあります。最初は恥ずかしくても徐々に慣れることが多いです。慣れるまで粘り強く取り組んで欲しいです。授業前にオフィスアワーを設けますが、コンタクトの仕方などはオリエンテーションで説明します。